

科目名	科目群	単位	配当年次	担当教員
行政法研究2	A群	2	1・2	木村 俊介
授業の概要・到達目標				
<p>行政法研究2においては、前半は、行政救済法をテーマとする。これは、国や地方団体により違法又は不適正な行政活動が行なわれた場合、国民・住民にどのような救済策が用意されているかを概観するものである。行政救済法は、行政不服審査法及び行政事件訴訟法から成る行政争訟制度及び国家賠償制度により構成されている。この分野においては、法令の運用解釈だけでなく、判例が大きな役割を果たしている。法規や判例に関する学習を通して、行政救済制度の具体的なイメージをつかむとともに、行政過程に見られる法現象を考察する。</p> <p>後半は、法律による行政の仕組みをテーマとする。具体的には、行政の現場において盛んに活用される個別行政法を採り上げる。それぞれの法律の基本的枠組みを理解するとともに、判例等を通じて、実践の場においてどのような点が課題となっているか等について考察する。</p>				
授業内容				
<ol style="list-style-type: none"> 1 国家賠償法(1) (どのような場合に国を訴えることができるか? 国家賠償法1条関連の判例) 2 国家賠償法(2) (営造物を巡る国家賠償) 3 行政不服審査 (行政不服審査とは何か?) 4 行政事件訴訟の仕組み (行政事件訴訟とは何か?) 5 取消訴訟の訴訟要件(1)(取消訴訟はどのような場合に認められるか?) 6 取消訴訟の訴訟要件(2) (「原告適格」とは何か?) 7 取消訴訟の訴訟要件(3) (「訴えの利益」とは何か?) 8 まちづくりと法制度 (都市計画法, 都市公園法等) 9 空き家・ごみ屋敷対策と法制度 (空き家対策特別措置法, 関係条例等) 10 ごみ処理と法制度 (廃棄物処理法, 公害防止協定等) 11 福祉施策と法制度 (生活保護法, 介護保険法等) 12 食の安全等と法制度 (食品衛生法, 薬事法等) 13 風俗営業の規制と法制度 (風営法, 関係条例等) 14 学校教育と法制度 (学校教育法, 地方教育行政法等) 				
履修上の注意点				
準備学習(予習・復習等)の内容				
教科書				
<p>テキスト 桜井敬子, 橋本博之 『行政法(第5版)』 弘文堂, 2012年。 授業に用いる補助教材は、事前にwebに掲載する。</p>				
参考書				
成績評価の方法				
<p>平常点10%, 講義ディスカッションへの参加40%, 学期末のレポート(50%)により総合的な評価を行う。</p>				
その他				